

高速道路の床版補強工 — 炭素繊維シート工法 —



本工事は、高速道路における、既設鋼桁橋の床版補強工を実施し、構造物の長寿命化や安全性の向上を図る工事である。

床版補強工は、鉄板などのプレートを接着させて補強を行うことが多いが、クレーンなどの大型重機の作業スペースを確保できない都心では、人力作業で施工可能な炭素繊維シートを貼付けて補強を行うのが一般的である。

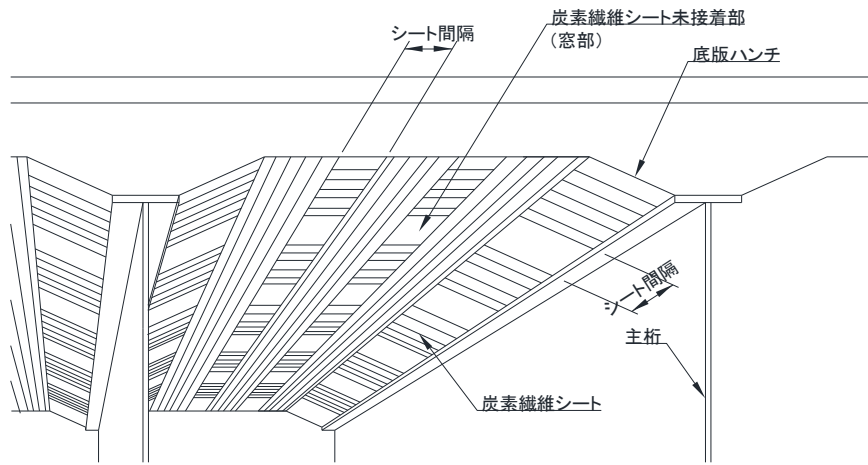
今回は、床版の定期点検作業が行えるように、点検部に養生テープを貼付け、幅250mmの炭素繊維シートを格子状に貼付ける補強工となった。

施 工 数 量

ひび割れ補修工	50.4m
断面修復工	18.8m ²
炭素繊維シート貼付け工	5,329.9m ²

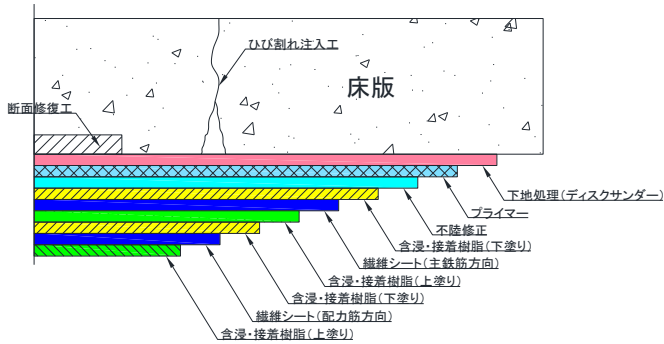


補強概要図



積層図

養生テープ工状況



施工完了後全景

